

「学術手話通訳に対応した通訳者の養成」 事業シンポジウム



2018年
2月18日 日
13:00~17:00

群馬大学荒牧キャンパス
教育学部GB155教室

〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

※参加費無料。会場に直接お越しください。

※手話通訳
要約筆記付



前橋駅からバスが出ております。詳しくは群馬大学公式HPなどをご参照ください。

プログラム

「手話」を表現している
ぐんまちゃん

13:00 開会挨拶

13:15 学術手話通訳養成の背景となる行政説明

●障害者差別解消法の取り組みと障害者施策

内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付参事官(障害者施策担当) 寺本 琢哉 氏

●意思疎通支援事業としての手話通訳養成の現状と課題について

厚生労働省 障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室 情報・意思疎通支援係長 引間 愛 氏

●高等教育機関における手話通訳支援の課題について

文部科学省 高等教育局 学生・留学生課長 井上 諭一 氏

●群馬県手話言語条例と手話施策実施計画について

群馬県 健康福祉部 障害政策課 地域生活支援係長 野中 博幸 氏

14:15 本事業の説明 金澤 貴之(群馬大学教育学部教授)

10分休憩

14:40 基調講演

大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 相談支援部門講師 中野 聡子 先生

「学術手話通訳と聴覚障害学生支援をめぐる諸課題」



筑波大学大学院卒(’96-’97ギャローデット大学留学)。日本の大学で初の聾者自身による手話研究で博士号を授与。東京大学先端科学技術研究センター特任助教、広島大学アクセシビリティセンター特任講師、国立民族学博物館プロジェクト研究員を経て、現在、大阪大学キャンパスライフ健康支援センター講師。著書：『大人の手話・子どもの手話—手話にみる空間認知の発達』(明石書店)等。聴覚障害学生の情報保障についての認知心理学的研究を継続的に進めており、現在、認知・言語的アセスメントに基づいたアプローチによる学術手話通訳養成プログラムの開発に取り組んでいる。

15:10

10分休憩

15:20 パネルディスカッション

「学術手話通訳ニーズに応えることの意義と課題」

ファシリテーター：金澤 貴之

パネリスト：石川 芳郎 氏(全国手話通訳問題研究会理事)

堀米 泰晴 氏(群馬県聴覚障害者情報提供施設コミュニケーションプラザ職員)

後藤 睦 氏(大阪大学大学院博士後期課程)

16:50 開会挨拶

問合せ先

手話サポーター養成プロジェクト室
TEL & FAX 027-220-7157



ID: gunma-u-sign



<https://www.facebook.com/gunmasign/>



主催 群馬大学

共催 群馬県

後援 群馬県聴覚障害者連盟

助成 日本財団

<https://www.nippon-foundation.or.jp/>